

「秋季交流行事」囲碁・将棋・麻雀大会開催 会員の楽しみの大会を継続

伊藤忠男 通信員

毎年の報告でも触れているが、会員（愛好家）の高齢化が進み、5年前は46名、去年は42名と参加者が徐々に減ってきている。昨年の秋の行事の後、関係者が集まって今後の開催について検討した。

単組レベルの退職者組織でも愛好者が減っているため大きく参加者を増やすことは難しいが、いつもと違う緊張感で対戦ができること成績が良ければ表彰してもらえることなど、常連の参加者はこの大会を楽しみにしている。という意見が多く、今年も行事を継続することを決めた。

囲碁・将棋は10月12日（木）に京都労働者総合会館で10時から開催、囲碁はAクラス（3段以上）5名、Bクラス（2段以下）6名の参加、将棋は10名の参加で熱戦を展開。

囲碁Aクラスは栃原巧一さん（島津）、Bクラスは岡田正夫さん（島津）、将棋は磯谷弘之さん（島津）が優勝した。

麻雀大会は11月16日に島津紫明荘にて開催、10時から20人が参加、木田茂さん（島津）が優勝。合計41名の参加者には、適度の緊張感とともに1日楽しんでいただいた。（通信員伊藤忠男）



